山本信之議員

問

●指定管理者制度について
●てん茶加工施設について
●木質エネルギー循環モデル事業について
●川根高校存続について

質問 ウッドハウスおろくぼ指定管理者について、指定管理者の独立採算として、町から赤字補てんはしないということでありますが、一社の収支計画書を見ますと、町の支払う委託料が計上されています。指定管理者については、賛成ですが、募集要項の中に委託料を支払うということを加えていただきたいと思います。町民に質問を受けた際現在の状況では説明ができませんので透明性のある説明ができるようにしてほしいと思います。施策をしっかりとして、今後手順をふまえとり組んで、ほしいと思います。

町長 当施設は平成20年3月議会で議決を頂き、現在管理運営が行われています。町の行政改革大綱の指示や商工観光委員会での協議を経て、指定管理制度を導入する方針が決定されました。通常の指定管理の手続きに沿って決定をしております。今後も3年毎の協定書見直しも含め、検証し健全な管理運営が出来るよう努めます。

質問 てん茶振興について、町の茶業振興上、地域として各種のお茶が生産できる産地であることの必要性は近年の茶状況から判断しても、重要な点と考えます。20年6月の全員協議会に於て、3月に20年度一般会計当初予算に2億4千900万円を計上していたにもかかわらず、てん茶加工施設の建設事業を中止すると説明がありました。中止になる前に、町内の農家及び大井川農協、行政、三者の話し合いが十分行なわれていればこのような問題は回避できたのではないでしょうか。なぜ議案として上げたのか疑問に思います。てん茶振興に対しての内容以前に手順が違うのではないかと思います。

町長 茶業の振興のためにてん茶工場を造りたいという要望があり、やる気のある農業者の支援は町の施策の柱ですので、県への申請をし、予算も可決して頂きました。その後、当事者から事業継続が困難になったとの申し出があり、その現実を重く受け止め補助金取り下げの手続きをさせていただきました。

南麓祭

質問 木質エネルギー循環モデル事業について、町長から運営体は川根本町、大井川森林組合、矢崎計器で三者で行なうと説明がありましたが、森林組合はこの計画は無理だということでした。全員協議会にあげる以前にしっかりとした手順をふまえてほしいと思います。

町長 この事業は、議案として提出される以前の段階で計画を提示したものです。平成17年度から検討を重ねて、原材料確保の問題、コストの問題で流通にのせることの出来るペレットの生産は困難との判断のもと当面施設整備は見合わせました。

質問 川根高校の存続について、創立当時は500名を越える生徒が在籍しておりましたが現在では205名に減少し、このような状況が続きますと存続さえ、むずかしくなってきます。川根高校は時間的、経済的負担の解消、教育、文化、産業など地域の活性化の原点であります。平成27年度以降、再編見直しの課題がありますが、話題が挙がってから考えるのでは遅すぎると思います。今後、早い時期に行政、教育委員会、地域が一丸となって存続の為の署名を集め、県の教育委員会に誓願に行きたいと思っております。

町長 川根高校については県教育委員会が所管する学校でありますので、私の立場、視点からお答えいたします。平成17年3月「静岡県立高等学校第二次長期計画検討委員会」は県教育委員会より平成27年度までを見直した県立高等学校の在り方について検討依頼されました。その中では遠隔地の県立高等学校としての川根学校は、平成27年度までの再編の対象校とはなっておりません。私も、川根高校の学校後援会会長の立場にありますので教育活動の後援や施設充実などに努力し、地域に無くてはならない学校として、さらに支援をしてまいりたいと考えます。また、県へも課題にそって要望を行なってまいります。

答

○健全な管理運営が出来るように努める
○当事者の申し出で取下げの手続き
○検討を重ねたが、コスト等で施設は見合せた
○課題にそって要望を行っていく